

二つめは、健康な人はより健康を伸ばすため、一人一スポーツの定着をすみ、体力の保持増進の機会と場を提

ビジョン



その一つは、地域文化を大切にしながら、生涯を通して自己の形成や生活の向上、そして地域づくりにつながる学習活動の実践ができる条件整備をして、生活を通じた中で創造する喜びを味わえる——文化的水準の高い村づくりです。

村では、この生涯学習で目指す方向（理想）として次の三つのビジョンを描いています。

未来をデザインする三つの方向性

ではとても潤いのある豊かな人生なんて望めませんね。

そこで、岩室村の持つ特長—そうです。この恵まれた自然環境をフルに生かして、みなさん一人ひとりが何かを考え学び、それを地域づくりに反映させながら、お互いが文化と人のふれあいといった心の温もりを分かちあえるような村をつくつていこう——というのが「生涯学習」を進めている大きな意味です。



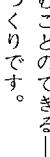
お母さんたちの勉強会は、家庭で学習を進める大きなポイントですね。
(公民館の婦人学級から)

学習の主体



供する一方、生涯を通して健康な体力ができる環境を創出して、たくましい体と心を育むことのできる——健 康水準の高い村づくりです。

ビジョン



お年寄りの持つ知恵と技は生涯学習に欠かせない貴重な財産。(公民館の高齢者学級から)

次回はこのアンケート調査の結果を中心にお話ししたいと思います。



元気のある村づくり全体会が生涯学習 「生涯学習」のすすめ

岩室村はいま、「モノ」から「ここ」ろへの村づくりを目指して生涯教育、生涯学習を積極的に進めはじめています。

とかく、〈教育〉とか〈学習〉といふと、堅苦しい肩のこるものと受けとめられたり、なにもこれまでやっているものなので、いまさら強調しな

くとも……といった見方もあると思いまます。

しかし、そんな状況の中で、なぜ岩室村がほかに先がけて生涯学習の推進に力を入れるのかといえば、「人や地域を元気にする」ということにつきます。人生八十年代や高齢化社会といった言葉も、すっかり色あせてしまった

感じもしますが、果たしてどれだけのみなさんが、そのことを真剣に「自分のこと」として受けとめ考えているでしょうか。

一例をあげると、岩室村の高齢化率はどのくらいだと思いますか。約十六%です。六人に一人はお年寄りという、まさに高齢化社会の最先端、といつても過言ではないでしょう。

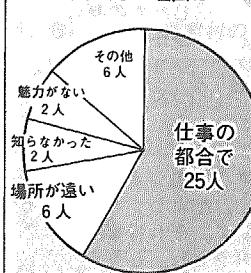
このように小さな変化ではあってもどんどん社会は変わってきたているのに、わたしたちの生活自体が「現状延長型」

りの実践活動を前提に設定しているもので、それがなければ単なる空絵——絵にかいたモチになってしまいます。

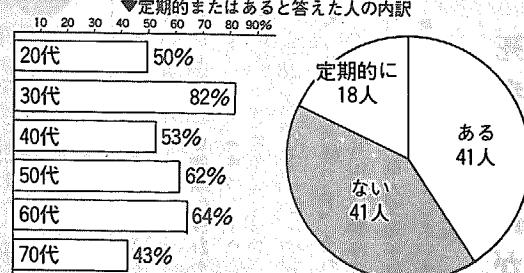
この「生涯を通じた学習体制を整備するまちづくり」のモデル指定を機に、生涯学習についてみんなで考え方を深めて、「創造する岩室村」をつくっていきたいですね。

また、テレビのクイズ番組ではありませんが、「村民100人のかたに聞きました」というアンケート調査(八月実施)の結果をご紹介しますので、ご自分の場合はどうかな、と分析してみてください。

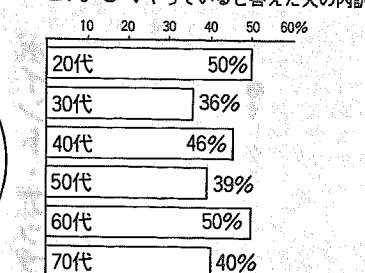
■Q.4で「ない」と答えた41人のその理由は…



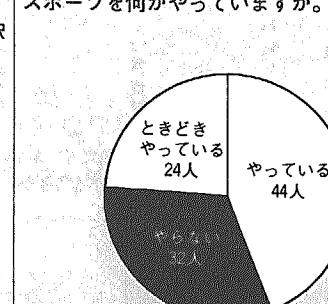
Q.4 過去1年間に公民館を利用したことがあります。
▼定期的またはあると答えた人の内訳



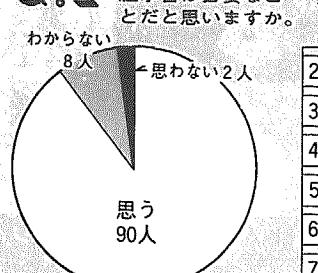
Q.3 あなたは現在、学習ややっていると答えた人の内訳



スポーツを何かやっていますか。



Q.2 あなたにとって生涯学習は必要なことだと思いますか。



一生涯教育アンケート調査から

ことし8月、村民のみなさん100人に生涯教育などについてアンケート調査を行いました。その結果の一部をご紹介します。あなたと比べていかがでしょうか。次回は、調査結果の分析からお話をします。

Q.1 生涯教育・生涯学習という言葉を聞いたことがありますか。

